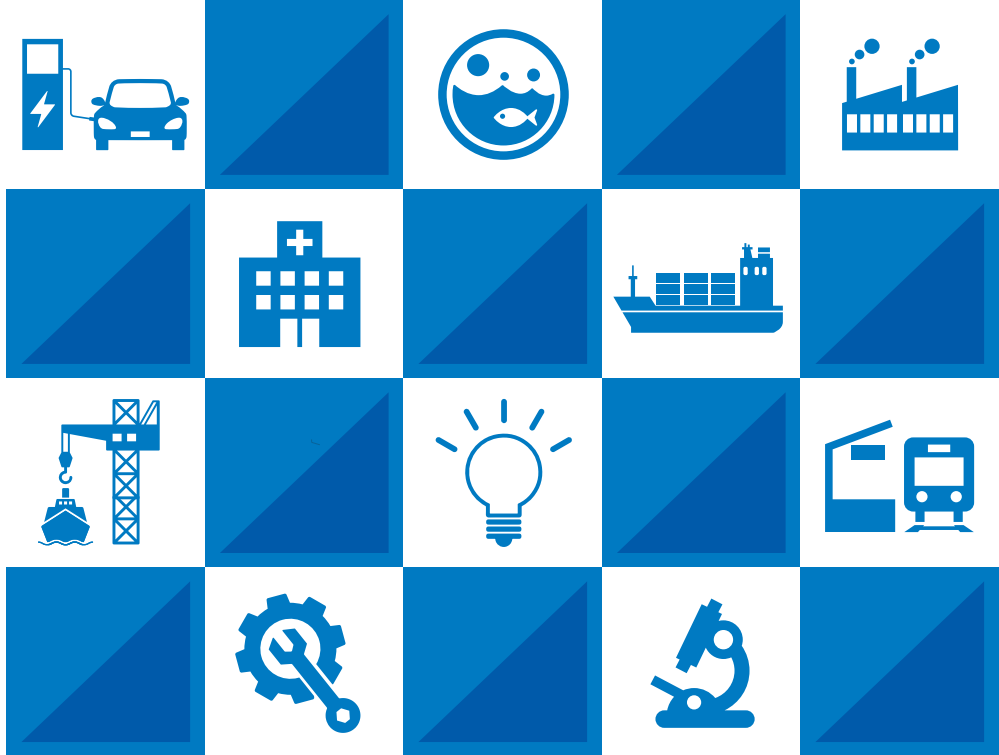


第45期 年次報告書

2024年4月1日～2025年3月31日

寺崎電気産業株式会社
TERASAKI ELECTRIC CO., LTD.

証券コード：6637



2025年3月期 連結業績・配当金ハイライト

詳細は、当社ウェブサイトに掲載されているIR情報をご覧ください。
<https://www.terasaki.co.jp/investor/>



売上高

営業利益 / 営業利益率

経常利益

親会社株主に帰属する当期純利益
/ 1株当たり当期純利益

配当金

56,404百万円

前年同期比 +8.3%

5,618百万円

前年同期比 +14.2%

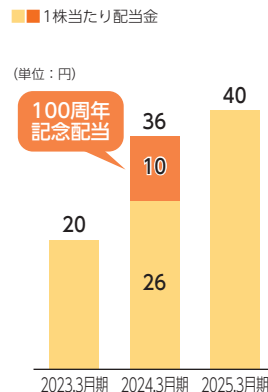
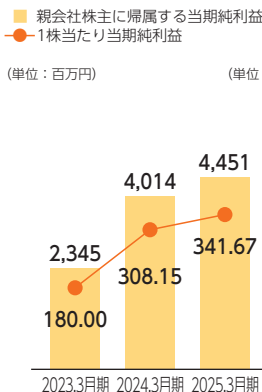
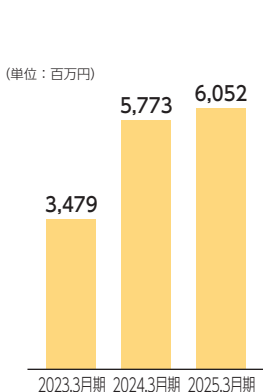
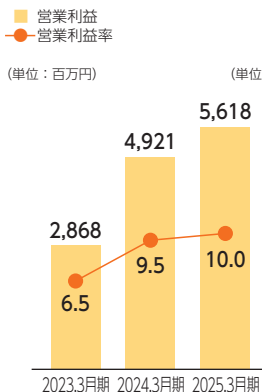
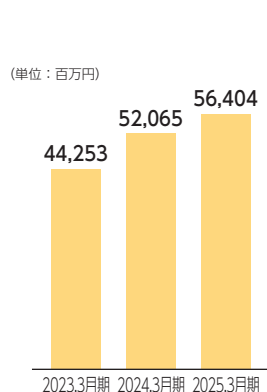
6,052百万円

前年同期比 +4.8%

4,451百万円

前年同期比 +10.9%

年間 40円



2026年3月期 業績予想 及び 配当予想

売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する当期純利益

配当金

59,370百万円

前年同期比 +5.3%

5,700百万円

前年同期比 +1.5%

5,890百万円

前年同期比 ▲2.7%

4,160百万円

前年同期比 ▲6.5%

中間 20円
期末 23円
年間 43円

《業績予想の前提となる為替レート》

1米ドル：145円、1ユーロ：156円、1英ポンド：184円、
1中国人民元：19.5円

《為替感応度》（1米ドル1円変動時*の影響額）

売上高：約2億円、営業利益：約1億円

*その他の外貨が米ドルと連動して変化することを前提とする

Point

- 売上高…船舶用システム製品が総じて堅調に推移すると予測し、増加となる見込み。
- 配当金…前年同期から3円増配の1株当たり43円（年間）を予定。

将来に向けた投資を継続すると共に
強化した生産拠点を活用し、
システム製品の受注を
確実に売上に結び付け、
更なる成長を目指してまいります。

代表取締役 社長執行役員

寺崎 泰造

2024年度の業績

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年3月期の業績は、売上高・利益ともに昨年度を上回る業績とすることができました。

この業績は、為替相場が円安で推移した影響もありますが、2020年より継続的に進めてきた国内外のシステム製品製造工場への設備投資が、好調な造船マーケットへの対応力を強化した成果と判断しております。さらに、価格適正化に向けた取り組みが徐々に実を結びはじめ、収益構造の改善にも繋がっています。

造船マーケットの状況

当社の主要顧客である造船業界においては、好調な海運市況を背景に、海上輸送の脱炭素実現に向けた次世代燃料船需要の継続や、中国における船舶製造能力の増強により、手持ち工事量を大きく伸ばしました。造船所の手持ち工事量は、2024年12月末時点で2.68億総トンを超え、約4年分の手持ち工事量を確保されている状況です。当社も2025年3月末時点で、システム製品の受注残高が約600億円となりました。

一方、親イラン武装組織フーシ派の民間船舶攻撃による紅海の航行制限は継続しており、米国の通商政策による

影響などの懸念材料も含め、今後も市況の変化を注視していく必要があります。

機器製品・産業用システム製品マーケットの状況

国内では、深刻化しつつある人手不足や地政学リスクの高まりに伴い、生産拠点の国内回帰の動きが進む中、高水準の企業収益を原資とした設備投資が堅調に推移しました。一方、海外では、高い金利水準による設備投資への下押し圧力はあるものの、脱炭素社会に向けた投資や生成AIなどに関連した投資が継続しました。

2025年度の経営計画

2026年3月期の連結業績予想につきましては、売上高・営業利益ともに増収・増益、経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、減益を予想しております。

業績予想の前提となる為替レートは、1米ドル：145円を想定しております。外貨売上が半分以上を占める当社にとつては、為替レートの変動は売上高、利益に大きく影響します。

また、当社製品は銅や銀などの原材料を多く使用しておりますので、銅・銀価格の高止まりした状況は、製品コストにも影響してきており、今後も注視していく必要があります。

昨年度に比べ、為替が円高方向で推移していることや人件費等の高騰は、売上や利益面でマイナス要因となりますが、生産性の向上や価格適正化に向けた取り組みなどでカバーできるよう努めてまいります。

システム製品においては、強化した国内外の生産拠点を最大限に活用し、豊富な受注残を確実に売上に結び付けます。

機器製品においては、新機種を活用し市場拡大すると共に、本年度より稼働開始予定である加美工場(第1期工事)の早期立ち上げを行い、生産性向上及び環境負荷低減を進めてまいります。また、国内外製造拠点の再構築も継続し、将来の売上拡大に向けた準備を進めてまいります。

さらに、人的投資も積極的に行い、テラサキの強みであるグローバルかつ多様な人材、一人一人の能力を活かした組織づくりを進め、持続的な成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月



船用高圧配電盤「HS50」
従来機種より小型化・大容量化を実現し、
LNG運搬船やコンテナ船等の
大型化・電動化にも対応した新型高圧配電盤



写真提供：Orient Overseas Container Line Co.,Ltd.

「HS50」が搭載された大型コンテナ船「OOCL Bauhinia」

連結財務諸表(要旨)

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表

資産の部		
(単位：百万円)		
科目	前期末 (2024年3月31日現在)	当期末 (2025年3月31日現在)
[資産の部]		
流動資産	48,381	51,199
現金及び預金	13,210	17,614
受取手形、売掛金及び契約資産	16,066	13,993
棚卸資産	16,791	17,048
その他の流動資産	2,312	2,541
固定資産	19,662	22,696
有形固定資産	12,405	14,073
無形固定資産	126	160
投資その他の資産	7,131	8,462
資産合計	68,043	73,896

負債・純資産の部			
(単位：百万円)			
科目	前期末 (2024年3月31日現在)	当期末 (2025年3月31日現在)	
[負債の部]			
流動負債	15,301	16,608	
固定負債	5,950	5,855	
負債合計	21,252	22,463	
[純資産の部]			
株主資本	40,065	44,048	
資本金	1,236	1,236	
資本剰余金	2,244	2,244	
利益剰余金	36,586	40,568	
自己株式	△ 1	△ 1	
その他の包括利益累計額	6,725	7,384	
非支配株主持分	—	—	
純資産合計	46,791	51,432	
負債純資産合計	68,043	73,896	

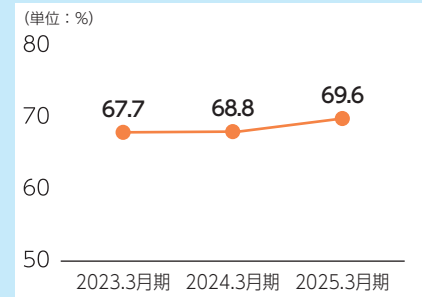
連結損益計算書

(単位：百万円)		
科目	前期 (2023年4月 1 日から 2024年3月31日まで)	当期 (2024年4月 1 日から 2025年3月31日まで)
売上高	52,065	56,404
売上原価	37,327	40,377
売上総利益	14,737	16,027
販売費及び一般管理費	9,816	10,408
営業利益	4,921	5,618
営業外収益	1,141	568
営業外費用	290	133
経常利益	5,773	6,052
特別利益	95	34
特別損失	158	2
税金等調整前当期純利益	5,710	6,085
法人税、住民税及び事業税	1,634	1,758
法人税等調整額	61	△ 124
当期純利益	4,014	4,451
非支配株主に帰属する当期純利益	0	—
親会社株主に帰属する当期純利益	4,014	4,451

連結キャッシュ・フロー計算書

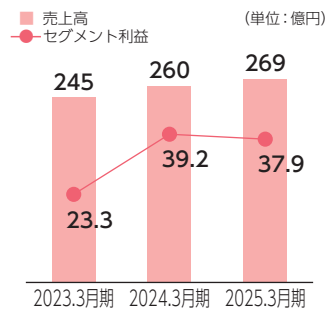
(単位：百万円)		
科目	前期 (2023年4月 1 日から 2024年3月31日まで)	当期 (2024年4月 1 日から 2025年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,819	8,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,417	△ 3,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 212	△ 743
現金及び現金同等物に係る換算差額	663	14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,853	4,404
現金及び現金同等物の期首残高	11,357	13,210
現金及び現金同等物の期末残高	13,210	17,614

自己資本比率



所在地別セグメントの概況

日本

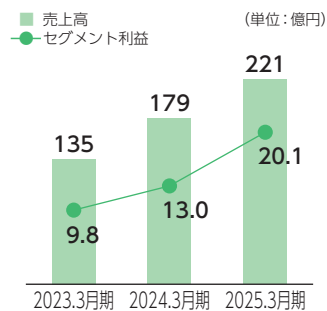


売上高 ▶ 26,928百万円 (前年同期比 +3.2%) ▼

セグメント利益 ▶ 3,791百万円 (前年同期比 ▲3.5%) ▼

- ▶ 船舶用システム製品 ▼ 陸電供給システムが減少したものの、LNG運搬船向け等が増加。
- ▶ 産業用システム製品 ▼ 国内グリーンエネルギー関連の発電プラント向け及びコージェネレーションシステム等の分散型エネルギー関連向けが低調に推移。
- ▶ メディカルデバイス ▼ 医療機器及び臨床検査機器ともに、前年同期並み。
- ▶ エンジニアリング及びライフサイクルサービス ▼ 国内鉄道関連施設のエンジニアリング案件が増加。
- ▶ 機器製品 ▼ 欧州向けが堅調に推移したものの、国内の一部で在庫調整の影響があり減少。

アジア

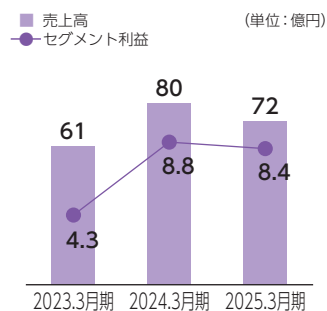


売上高 ▶ 22,186百万円 (前年同期比 +23.8%) ▲

セグメント利益 ▶ 2,015百万円 (前年同期比 +55.0%) ▲

- ▶ 船舶用システム製品 ▲ LNG運搬船をはじめ、いずれの船種向けも好調に推移し、前年同期と比べ大幅増。
- ▶ エンジニアリング及びライフサイクルサービス ▲ 船舶向けの換装工事が増加。
- ▶ 機器製品 ▲ 中国船用市場及びシンガポール国内向けで堅調に推移。

ヨーロッパ



売上高 ▶ 7,290百万円 (前年同期比 ▲9.5%) ▼

セグメント利益 ▶ 842百万円 (前年同期比 ▲5.2%) ▼

- ▶ 機器製品 ▼ 欧州向けの一部及び中近東向けにおいて低調に推移。
- ▶ エンジニアリング及びライフサイクルサービス ▼ ブレーカの更新工事が堅調に推移。

製品別概況

システム製品
(配電制御システム等)

売上高 326億円
(前年同期比 +17.5%) ▲

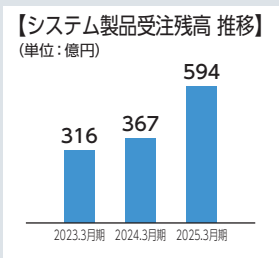
受注高 552億円
(前年同期比 +67.8%) ▲

受注残高 594億円
(前連結会計年度末比 +226億円) ▲

機器製品
(低圧遮断器等)

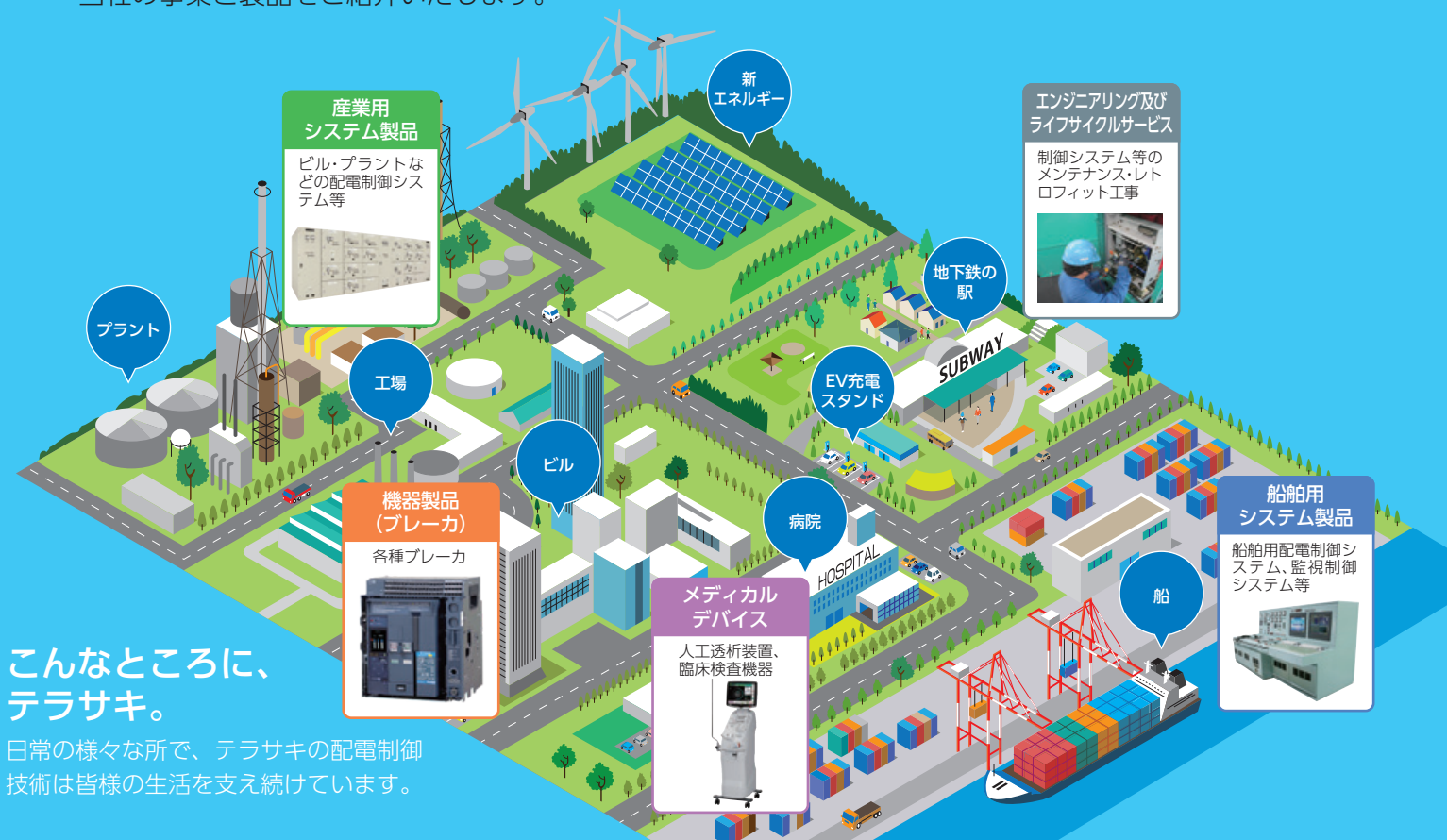
売上高 237億円
(前年同期比 ▲2.1%) ▲

(注) 機器製品は、計画生産を行っているため、受注高、受注残高は開示しておりません。



特集 テラサキの事業紹介

当社の事業と製品をご紹介します。



こんなところに、
テラサキ。

日常の様々な所で、テラサキの配電制御
技術は皆様の生活を支えています。

Vol.3 産業用システム製品

船舶用システム製品と
何が違うの？



船舶用システム製品は、船舶の中に設置される製品であり、産業用システム製品は**工場、ビルや発電プラントなどに導入**される製品です。

当社は、**埃や湿気などの環境の厳しい場所**に使用される案件や、プロジェクトごとに**カスタム設計**が求められる案件を得意としております。

産業用システム製品のお客様は誰？

ガスエンジンなどの**原動機メーカー様、エンジニアリング会社様、鉄道設備関連の会社様**などが当社のお客様になります。

また、新エネルギー関連の実証試験などを実施されているお客様にも、ご協力させていただいております。

コージェネレーションシステムって何？

通常、発電システムは電力だけを活用しますが、発電する際にエンジン等から**発生する熱も活用するシステム**をコージェネレーションシステムと言います。

当社はこのシステムの**発電機を制御するシステムを製造**しています。



コージェネレーションシステムにおける当社の役割

製品はどこで見ることができるの？

当社の製品は、**工場、ビルや発電プラントなどの電気室**に収められているので、通常皆様の目に触れることはありません。

2025年4月に開幕しました大阪・関西万博 (EXPO2025) の玄関口となる、**夢洲駅**の電気設備にも当社製品を納入しています。夢洲駅の電力は、当社の製品を介して供給されています。



夢洲駅 外観

● 会社の概要

商 号 寺崎電気産業株式会社
本 社 大阪市平野区加美東六丁目13番47号
創 業 1923年 (大正12年) 10月1日
設 立 1980年 (昭和55年) 4月1日
資 本 金 12億36百万円
従 業 員 数 2,198名 (連結)
553名 (個別)
連結子会社 国内4社、海外8社

● 取締役及び執行役員 (2025年6月27日現在)

代 表 取 締 役 員	寺 崎 泰 造	執 行 役 員	小 林 裕 史
社 長 執 行 役 員	熊 澤 和 信	執 行 役 員	浜 野 修 次 郎
取 締 役 員	長 瀬 順 治	執 行 役 員	西 野 政 治
取 締 役 員	梅 本 好 弘	執 行 役 員	中 川 英 生
取 締 役 員	吉 川 和 宏	執 行 役 員	武 田 務
取 締 役 員	安 川 恵 太	執 行 役 員	擲 輝 行
取 締 役 員	西 田 昌 央	執 行 役 員	那 須 修 三
取 締 役 員	千 代 田 邦 夫	執 行 役 員	鈴 木 正 彦
取 締 役 員	鷹 野 俊 司		

● 株式の状況

発行可能株式総数 52,000,000株
発行済株式の総数 13,030,000株
株 主 数 1,558名

● 大株主の状況 (上位10名)

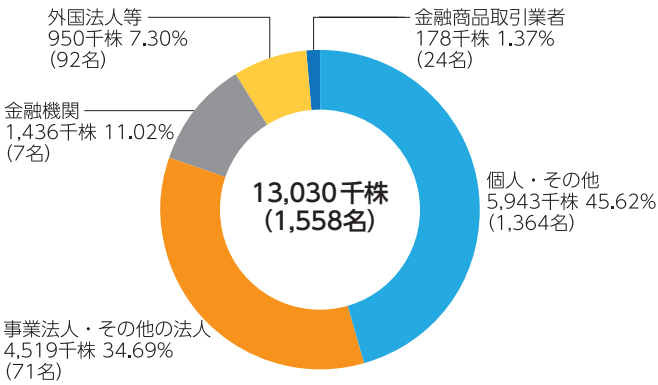
株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社寺崎	2,200	16.89
寺崎 泰造	1,146	8.79
テラスキトラスト株式会社	866	6.64
荒巻 かおり	738	5.66
寺崎 雄造	677	5.19
株式会社芳山社	653	5.01
テラスキ従業員持株会	523	4.01
テラスキ共栄会	511	3.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	401	3.08
有限会社アーク	400	3.07

(注) 持株比率は自己株式 (1,117株) を控除して計算しております。

● 株主メモ

事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで
基 準 日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
定 時 株 主 総 会 毎年6月下旬開催
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)
なお、特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙
(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株
式買取請求取次依頼書等) のご請求につきましては、イ
ンターネットにより24時間受け付けておりますので、
ご利用ください。
<https://www.tr.mufj.jp/daikou/>
上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 スタンダード市場
公 告 方 法 電子公告により行います。
当社ウェブサイト <https://www.terasaki.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない
事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。)

● 所有者別株式分布状況



※自己株式 (1,117株) は個人・その他に含めて記載しております。

株主の皆様の声をお聞かせください



当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー



スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェーブ
の登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp



〒547-0002 大阪市平野区加美東六丁目13番47号
TEL : 06-6791-2701 (代)
WEB : <https://www.terasaki.co.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

